

相模原マンドリン倶楽部

第 36 回定期演奏会



第 35 回定期演奏会

2021 年 10 月 31 日（日）14:00 開演

相模女子大学グリーンホール 大ホール

後援：相模原市・相模原市教育委員会

♪ ご挨拶 ♪

本日はご多忙の中、相模原マンドリン倶楽部第36回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

相模原マンドリン倶楽部は1977年（昭和52年）の創部以来、今年で44年となり、社会人のマンドリン団体として県下では最大規模の合奏集団へと成長いたしました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で演奏会を行うことができず、今年は2年ぶりの演奏会となります。今回は、フランス特集として、第Ⅰ部ではフランスゆかりの作品を、第Ⅱ部ではフランス人作曲家の作品を演奏します。

秋の昼下がりのひとときをマンドリン音楽でごゆっくりお楽しみください。

♪ 演奏曲目 ♪

指揮：新井 義輝（客演）

第Ⅰ部 フランスゆかりの作品

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 序曲「レナータ」 | 作曲：ヤセント・ラヴィトラノー |
| 2. ルーマニア大幻想曲「ナデージャ」 | 作曲：マリオ・マチョッキ |
| 3. フランス映画音楽メドレー | 編曲：新井 義輝 |
| 白い恋人たち | 作曲：フランシス・レイ |
| 男と女 | 作曲：フランシス・レイ |
| 愛のロマンス（禁じられた遊び） | 作曲：作曲者不詳 |
| シェルブールの雨傘 | 作曲：ミシェル・ルグラン |
| 4. シャンソンメドレー | 編曲：新井 義輝 |
| バラ色の人生 | 作曲：ルイギ |
| 枯葉 | 作曲：ジョセフ・コズマ |
| 雪が降る | 作曲：サルバトール・アダモ |
| パリの空の下 | 作曲：ユベール・ジロー |
| 愛の讃歌 | 作曲：マルグリット・モノー |

-----休憩 15分-----

第Ⅱ部 フランス人作曲家の作品

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. バレエ組曲「シルヴィア」より バッカスの行列 | 作曲：レオ・ドリーブ
編曲：新井 義輝 |
| 2. 亡き王女のためのパヴァーヌ | 作曲：モーリス・ラヴェル
編曲：久保田 孝 |
| 3. 女学生 | 作曲：エミール・ワルトトイフェル
編曲：久保田 孝 |
| 4. 歌劇「ファウスト」より バレエ音楽 | 作曲：シャルル・グノー
編曲：新井 義輝 |

♪曲目紹介♪

●序曲「レナータ」(Renata, ouverture)

作曲：ヤセント・ラヴィトラノ (Hyacinthe Lavitrano ; 1875~1938)

ラヴィトラノはナポリ湾イスキア島に生まれ、のちにフランスに帰化した。本曲は、1909年パリのL'Estudiantina誌主催の作曲コンクールで入賞したマンドリンオリジナル曲であり、氏の代表作の1つである。「レナータ」とは、レナータ・ディ・フランチャ(仏語読み：ルネ・ド・フランス)という、仏王ルイ12世の子であり、ユグノー戦争の時代の女性である。

●ルーマニア大幻想曲「ナデージャ」(Nadedja, grande fantaisie roumaine)

作曲：マリオ・マチョッキ (Mario Maciocchi ; 1874~1955)

マチョッキはローマに生まれ、のちにフランスに移住した。本曲は、チャールダーシュ形式であり、緩急が交互に現れ(鐘の音が聞こえますか?)、マンドリンのカデンツァのあと、結末に向けて加速していく。

●フランス映画音楽メドレー

白い恋人たち、男と女、愛のロマンス(禁じられた遊び)、シェルブールの雨傘の、4つのフランス映画音楽をメドレー形式で編んだ。いずれも音楽が独立して演奏・歌唱されることが多いものであり、どこかで聞いたことのある曲ではないでしょうか。

●シャンソンメドレー

バラ色の人生、枯葉、雪が降る、パリの空の下、愛の讃歌の5つのシャンソンの名曲をメドレー形式で編んだ。昭和時代に日本語の歌詞で歌われて我が国でヒットしているものも多く、これまたどこかで聞いたことのある曲ではないでしょうか。

●バレエ組曲「シルヴィア」より バッカスの行列 (SYLVIA Suite d'Orchestre: IV. Cortège de Bacchus)

作曲：レオ・ドリーブ (Léo Delibes ; 1836~1891)

ドリーブは、フランス・ロマン派の舞台音楽における作曲家で、『コッペリア』と並ぶ代表作『シルヴィア』(全3幕)は、1876年にパリ・オペラ座で初演された。チャイコフスキーをして「もしこの音楽を知っていたら、私は『白鳥の湖』を書かなかっただろう」と言わしめた曲である。内容は、狩の女神ディアナのニンフ(妖精)であるシルヴィアと羊飼いの若者アミンタの恋物語。「バッカスの行列」は、酒神バッカスを讃える活気に充ちた音楽であり、単独で演奏されることも多い。

●亡き王女のためのパヴァーヌ (Pavane pour une infante défunte)

作曲：モーリス・ラヴェル (Maurice Ravel ; 1875~1937)

パヴァーヌとは、16世紀から17世紀にかけてヨーロッパの宮廷で普及していた舞踏のことである。この題名は「亡くなった王女の葬送の哀歌」ではなく、「昔、スペインの宮廷で小さな王女が踊ったようなパヴァーヌ」とのことである。1899年にピアノ曲として作曲され、1910年に氏自身によって管弦楽曲に編曲された。

●女学生 (Estudiantina)

作曲：エミール・ワルトトイフェル (Émile Waldteufel ; 1837~1915)

ワルトトイフェルはフランス北東部アルザス地方ストラスブル生まれ。その姓からも明らかなようにドイツ語圏である。本曲は、「スケーターズ・ワルツ」と並ぶ氏の代表作で、複数のワルツが連なっている。

●歌劇「ファウスト」より バレエ音楽 (Ballet Music from Faust)

作曲：シャルル・グノー (Charles Gounod)

ゲーテの戯曲「ファウスト」を題材にグノーがオペラとして作曲した。本曲は、1869年パリ・オペラ座での上演に際し追加されたものである。第1曲 ヌビアの踊り、第2曲 クレオパトラと黄金の杯、第3曲 ヌビア奴隷の踊り、第4曲 クレオパトラとその奴隷たちの踊り、第5曲 トロイの娘の踊り、第6曲 鏡の踊り、第7曲 フリネの踊り、の7つの舞曲からなる。

(参考資料として、マンドリンアンサンブル・ヴォールテンペリーレンwebsite、東京フィルハーモニー交響楽団公演パンフレット、「バレエの歴史」(佐々木涼子)、Wikipedia等より引用させていただきました。)

♪ 客演指揮者紹介 ♪

新井義輝氏は、明治大学商学部及び東京音楽大学指揮科卒業。音大在学中から各地の市民オペラやオーケストラをはじめとする幅広い分野での指揮、指導にあたる一方で、新国立劇場、日本オペラ協会などの団体でオペラ指揮者としての経験を積む。ミュージカルの分野でも劇団四季などの上演に携わる。2003年からは国内外で活躍するプロ音楽家で結成したプロ音楽集団「チェンバーミュージックハウス」を主宰。その他オペラ演出や主にマンドリン音楽の作曲・編曲も手掛けるなど、積極的に活動の幅を拓けている。指揮を三石精一、久保田孝の各氏に師事。

♪ メンバーの紹介 ♪

◎トップ ○サブトップ ☆賛助出演

1st Mandolin	◎窪田成子 中重亜由美 吉岡直美	○山崎了三 仁尾眞里 吉野昌重	石本友子 舟田徳穂	川崎紘子 木田絹子	桑田久美子 宮部美智子	佐藤陽平 森 陽子
2nd Mandolin	◎梅澤典子 児玉三保子 宮原善子	○饗庭裕子 小貫カツ子	綾部文子 田嶋稔一	大沼和江 土橋規子	金澤葉子 福谷隆治	京増万由美 松本美千代
Mandola	◎寺田美千代 笛木和美	○小竹由美 三木善二	岡林誠士 峯田福代	小竹義範 三村乃之	末永浩二 宮下和子	野沢孝広
Mandolon-cello	◎藤田尚美 辻 百合	○村田昌子 鈴木すみ子	飯田正男 宮本皓永	市川久美子	岩井尋絵	小澤健二郎
Guitar	◎中西茂樹 田中厚子 柳生秀人	○赤羽 浩 玉井康治 吉田真紀子	池上由子 新田美佐子 和田真紀子	浦田富男 原田 治	加登文子 福間悦子	小林 徹 宮原誠志
Contrabass	◎錦戸雅子	○加藤規康	鈴木保彦			
Percussion	☆土屋祐介	☆宮部裕美	☆野島充恵	☆河野理恵		

司会 ☆高橋理恵 (FM 江戸川)
ステージ・マネージャー 田嶋稔一 田中厚子

部長 小澤健二郎
マネージャー 加登文子 佐藤陽平 饗庭裕子 宮原誠志
技術委員長 中西茂樹
技術副委員長 原田 治
部内指揮者 大矢利夫 中西茂樹

♪ 練習風景 ♪

約70名の部員がおり、年齢層も広く、多様な職業に就いている忙しい人の集まりです。月3回の練習は、平均80%以上の高い参加率で、マンドリン音楽を楽しんでいます。夫婦参加の部員もおります。皆さんも仲間に入り演奏してみませんか。お待ちしております。写真はコロナ前の練習風景です。



相模原マンドリン倶楽部 (<http://sagamiharamc.sakura.ne.jp/>)
問い合わせ先 小澤健二郎